



# 3年学年だより

発行日:令和5年10月31日(火)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.6

## パラアスリート秦由香子選手の講演会

校長代理 中澤 務

10月17日(火)7校時、パラアスリート、トライアスロンの秦由香子選手が南高附属中に来校し、講演をしてくださいました。秦選手は講師紹介の後、むき出しの義足で登壇されました。骨肉腫を発症して、中学1年生の時に右脚の膝から下を失った秦選手。「中高6年間は体育の授業に一切参加することがなかった。なんで自分だけこんな目に遭わないといけな



いのかと思っていた。」「パラトライアスロン選手のかっこいい姿にあこがれた。トライアスロンをなぜやっているのと聞かれても、自分はこれを好きでやっているのだ、と答えている。」秦選手は来年のパラリンピック・パリ大会への出場と、東京パラリンピックパラトライアスロン6位以上の結果を出すことができるよう準備を続けています。

「障害をもった人と出会ったとき、わたしたちはどんな態度をとったらよいか」との質問を受け、義足をつけている自分を見かけたとき、日本では、こちらを見ないようにする人が多い、子どもが近寄ってくるようなことがあっても、親がそれを止めてしまうこともある。海外では、義足に興味をもって話しかけてくる人がいる、というようなお話もありました。

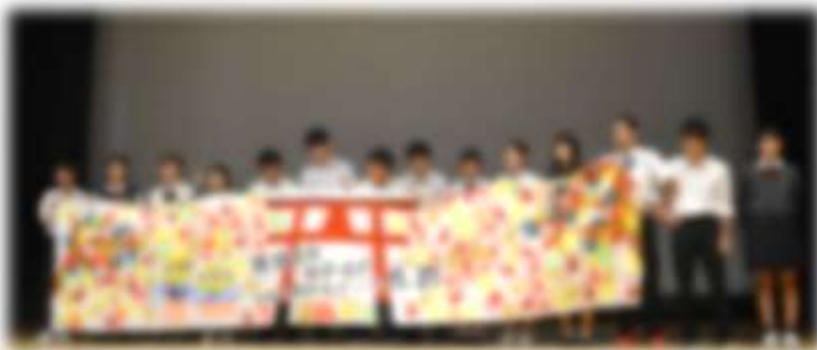
南高附属中の生徒が一堂に会する機会って実はそんなに多くはないんですね。今回、体育科の先生を中心にして中学校全校での講演会を企画することができました。また、講演会の様子はテレビ神奈川、タウンニュースに取り上げていただくことができました。(タウンニュース港南区・栄区版10月26日号)

「7校時目に講演を聞いて疲れたでしょう、みんな真剣に聞いてくれて嬉しい。」と秦選手はおっしゃっていましたね。講演を真剣に聞いてくれたこと、積極的にいろんな質問をしてくれたこと、そして講演翌日の振り返りで、秦選手に心のこもったメッセージを書いてくれたことで、南高附属中生徒の皆さんが、秦選手の心を動かしていることは間違いのないと思いますし、そんな皆さんを誇らしくも思います。

講演の後、改めて中学生に伝えたいことを尋ねると、「お互いに目標に向かってがんばっていこうというメッセージを伝えることができた。自分の行動は自分で決める、自分が好きでやるんだ、という思いをもって取り組んでほしい。」とおっしゃっていました。自分で決めることができる人を育てます、と私から秦選手に伝えました。

## 10月4日～6日 関西研修旅行

10月4日(水)から6日(金)関西方面へ2泊3日の研修旅行に行ってきました。1日目はユニバーサルスタジオジャパンへ、2日目は京都市内を班別行動し、3日目はクラスごとに寺社仏閣をまわりました。今月の学年だよりは、実行委員の振り返りと写真で関西研修旅行の様子をお届けします。



みなさんこんにちは！！関西研修旅行実行委員の[ ]です。関西研修旅行はもう終わってしまいましたが、楽しめたでしょうか？話を聞く限り、みんなが楽しめたようなので、心から嬉しいです。僕は、努力をしてみなさんに見せることができたコサックダンスと、迫力満点の金閣寺を見たことがとても印象に残っています。解団式でも言いましたが、研修旅行は卒業するまで、なのでこれからも全力で楽しみ、みんなで協力していきましょう。( [ ] )



みなさん、関西研修旅行は楽しめたでしょうか。僕たち、関西研修旅行実行委員は4月から活動を始めました。その努力をまずは認めてほしいです。みなさんが僕たちの努力をみたのは、しおりや出発前日の結団式だと思います。漫才、とってもおもしろかったよね？その漫才もネタを考えるのに連想ゲームなどをしました。このような小さな努力の積み重ねで最高の研修旅行になったと思います。残り少ないですががんばっていきましょう。( [ ] )

最初はぎこちなささえ感じた実行委員会。しかし、横断幕の作成や保護者説明会などを通して委員会の形ができてきて、研修旅行だけでなく、委員会も楽しんでやろうという雰囲気が感じられました。自分自身も委員会はずごく大変でしたが、毎回楽しかったです。結団式はダンスをして漫才をして、委員の熱量がみんなに伝わり、式の盛り上がりそのまま素晴らしい研修旅行になりました。がんばりが報われた3日間で、とても楽しかったです。( [ ] )



今回の研修旅行で、学年やクラスの絆がより深まったと思います。特に印象に残っているのは、2日目夜の学年レクです。レクを2つ行い、どちらも委員の想像以上に盛り上がりました。先生方のサプライズレクも盛り上がり、これが10期の良さだな、と感じることができました。関西が明け、一段と仲良くなった10期生でよりたくさん思い出をこれからも作ってきたいです。( [ ] )

1組宇治・伏見方面



2組大原方面



3組宇治・伏見方面



4組嵐山方面



今回委員として役割を持ったことは良い経験になった。私にとって行事を運営する側になったことは初めてで、他の人よりも規則を理解することやスケジュールを把握しておくことなど、自覚を持つように努めた。また担当のレクでは、ゲーム案を練ったりより楽しめるルールを考えたりして盛り上げるものを企画できたと思う。16人で最高の研修旅行を盛り上げたことを自信に、来年以降の行事にも積極的に参加していきたい。( )

みなさん関西研修旅行おつかれさまでした！！あつという間の3日間でしたが、それぞれ貴重な体験をしたのではないのでしょうか。特に印象に残っているのは、2日目の学年レクです。相撲やクイズに参加した人だけではなく、見ている人たちも一体となって盛り上がり、準備をした委員としても嬉しかったです。研修旅行で深めたクラスの仲や学んだことを今後の行事や学校生活で生かしていきましょう！！(齋藤由奈)

突然ですがあなたに伝えたいことがあります。ずばり、最後に頼れるのは自分だけです。5月は、旅行当日までのカウントダウン、スローガン、旗の掲示を考えていました。初耳でしょう。準備をしている間に当日になってしまったのですから。やりたいことがあるなら自分で計画して自分で実行しましょう。協力してもらおう場合も自分でお願いしましょう。でないとな不満な結果に泣くことになります。みなさんはどう思いますか。( )

私は今回の関西研修旅行で、三日間10期生の皆が中学最後の研修旅行を全力で楽しむ姿が印象的で、良かったところだと感じました。また今回は三日間私服で過ごしたこと、USJや班別行動があったことで普段と違った特別さを感じられたと思います。2組は初日から最後の新幹線まで盛り上がっていたり、三日目の大原ではお寺の歴史を学んだりお抹茶をいただく貴重な体験もできました。( )

### 姫のひとりごと

夏休みの新潟英語研修旅行に引き続き、関西研修旅行も無事終わりました。改めて感じたのは、皆さんが、実行委員をはじめとするリーダーの思いをしっかり受け止めて、行動できる集団であること。コミュニケーションはキャッチボール。受け手がいてこそ、安心して自分を表現できるのですね。温かい学年に成長しました。